

平成24年度・自主研究会等の活動報告書

研究会等の名称	ウェブサイト研究会
代表者	長野研一
参加者	雪野佐喜子会員、是永逸郎会員、阿部芳久会員、大隈義弘氏（非会員）、隅田紀子氏（非会員）、鍵野正則会員、村上洋一氏（非会員）
研究会等活動の目的	ウェブサイトの構築・運営については、専門業者に外注するケースが多い情勢下、様々な問題・トラブルが頻出する傾向がうかがわれます。 当研究会は、かかる現状に鑑み、ウェブサイト関連業務の適正化のための目安・指針を中小企業者にわかりやすくお示しすることを目的としています。
活動の記録	運営手法としては、コンパルホールでの懇話会を中心にグーグルドキュメントを利用したネット上での双方向のやりとりを併用しています。 当該年度の活動経過は次の通りです。 平成24年6月16日 16:30～18:30 平成24年8月4日 16:30～18:30 平成24年10月13日 16:00～18:00 平成24年12月1日 16:00～18:00 平成25年3月23日 16:00～18:00
研究会（調査研究事業）の成果	昨年度概略をとりまとめた「ウェブサイト工程表」を下敷きに、今年度のアウトプットとして「ウェブサイトに係るトラブルの実例と対処法」を完成させました。 これは、ウェブサイトにまつわるトラブル例を列挙し、それぞれについてリスク・原因・対処法を表にしたもので、さらにこれらトラブル例を経営方針・運用方針・要求仕様・業者選択・契約内容・検収・運用の7項目に分類しています。

<p>研究会（調査研究事業）の課題</p>	<p>以下は、メンバーの総意ではなく、報告者（長野）の私見です。</p> <p>研究会運営上の一般的課題として、「参加意欲の喚起・維持」があると思います。</p> <p>この点、当研究会は、運営上の必要性を勘案しつつメンバーを選じたこと、当初からアウトプットを意識して各自に毎回明確な分担決めを行ったことで、メンバーの非常に強い参加意欲を維持することができたと自ら評価しています。やむを得ない事態を除けば、欠席は皆無でした。</p> <p>一方、上記のような運営をするならば、メンバーにいささかの負荷がかかることは避けられない難点はあるように思います。</p>
<p>中小企業経営者へのメッセージ</p>	<p>以下は、メンバーの総意ではなく、報告者（長野）の私見です。</p> <p>ウェブサイトの問題＝IT（情報技術）の問題という理解は、われわれ支援者側にも、中小企業側にもいまだ根強いものがあります。</p> <p>しかし私は、ITの進歩（より使いやすく、より安く、より高性能に）は、ウェブサイトの問題に占めるITの意義を低下させていくに違いないと思っています。</p> <p>今後重要になっていくのは、コモンセンス（人付き合いの常識）とコミュニケーション（相手にわかりやすく示し、説得し、反応を引き出す等）であると私自身は確信しています。</p> <p>ネットの世界とネット外の世界の垣根は低くなり、独自に発展してきたネットの世界は、（相互に影響を及ぼしつつも）ネット外の世界の常識に次第に従わざるを得なくなるものと思われます。</p> <p>これらを念頭に、中小企業経営者の方々には次の3点をお伝えしたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ウェブサイトを別世界の特殊なものと思込まないこと （ご自分の常識を信じてください） ② 理解できない（納得のいかない）ことには簡単に同意を与えないこと ③ 不安なときは、中小企業診断士やITコーディネータ等の専門家にセカンドオピニオンを求めてみること